伝説に彩られた山寺 池辺寺

味生池の龍（『池辺寺縁起絵巻』より）
池辺寺跡財宝管理委員会蔵

龍を鎮めるために建立された寺院

池辺寺の７つの不思議な物語
～池辺寺縁起絵巻～

池辺寺は味生池の龍伝説にまつわる寺院です。現在残されている池辺寺の財宝の中に『池辺寺縁起絵巻』という絵巻物があります。池辺寺に関する不思議な物語が７つ描かれたもので、そこには池辺寺が、味生池に棲んでいた龍を鎮めるため和銅３（710）年に建てられたと記されています（第１話）。

味生池は『続日本紀』にも記述がある実在の池で、本妙寺の浄池公廟碑には、加藤清正の代にこの味生池を埋め立てたことが記されています。

さて、古代に創建されたと伝えられる池辺寺ですが、実はその後明治初頭まで 1000 年以上もの間存続しました。ただ廃寺を迎えたとき池辺寺は池上地区に移っており、古い時代の池辺寺のことは分からなくなっていました。

池辺寺に伝わる龍のうろこ
池辺寺跡財宝管理委員会蔵

焼失する池辺寺（『池辺寺縁起絵巻』より）
池辺寺跡財宝管理委員会蔵

「百塔」は池辺寺の根本御座所

山中にたたずむ笠塔婆　～金子塔碑文～

金子塔南面

金峰山の外輪山、西平山の中腹に金子塔と呼ばれる笠塔婆があります。

金子塔が建てられたのは建武４（1337）年で、古くから修験者が行き来する道沿いにあったと考えられています。塔の４面には碑文があり、梵字の下に池辺寺の来歴が刻まれています。

碑文には、池辺寺が和銅年間（708～715 年）に建てられたということや本尊が正観音霊像であること、根本御座所が「百塔」であること、そして貞元元（976）年に焼失した後に仏様の導きで再建されたことなどが記されています。

古代の池辺寺には明らかになっていないことが多いのですが、この碑文に記された「百塔」が古代池辺寺の場所特定の大きな鍵になりました。

※ 続日本紀：平安時代初期に完成した史書。日本書紀に続く六国史の２番目。
この中で、味生池は肥後国司であった道君首名が和銅年間に灌漑用の溜池として築いたと書かれている。
本妙寺：熊本市西区花園にある加藤清正の菩提寺。
根本御座所：中枢域。
笠塔婆：塔の１種で、角柱状や板状の塔身に笠を載せたもの。

明らかになる池辺寺の姿 発掘調査

古代の池辺寺の発見

百基の石塔　～百塚地区～

百塚地区は、地元で古くから「開墾してはいけない」と言い伝えられてきた場所です。熊本市では、昭和 61（1986）年からこの地区の発掘調査を開始しました。そして発見された百基の石塔が金子塔碑文にある「百塔」と合致したことで、ここが古代の池辺寺跡であることが判明したのです。

壮大な百塔ですが、何のために造られたのかはいまだ謎です。

百基の石塔と本堂建物群

味生池と池辺寺の寺域であったと想定される地区

池辺寺の関連遺跡は百塚地区以外にも発見されています。味生池を見下ろす堂床地区には百塚地区と同じ９世紀の三重塔があったようです。烏帽子地区も同じ９世紀で、儀式などの場です。馬場上・来迎院地区では中世の坊院や墓などが見つかっています。池上地区には中世以降池辺寺の中心地があったようです。

このように 1000 年以上の長い歴史を誇った池辺寺は、周辺の山中に広く展開してきたのです。

古代池辺寺跡を整備

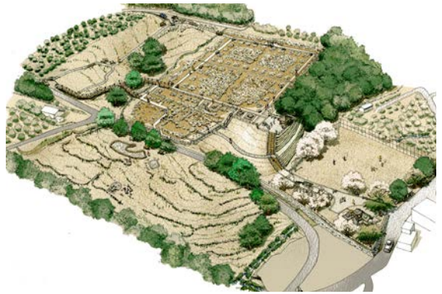
発掘当時の光景を復元
～整備された百塚地区～

発掘調査によって、百塚地区では本堂の建物群の背後に百塔群が広がるという壮大な光景の寺院が存在していたことが判明しました。さらに、建物群の前面にあった庭園も見つかりました。

このような、広い斜面に整然と並ぶ百塔は全国的にも例がないものです。加えて、これらの遺構（いこう）群の良好な保存状態や独自性の高さが評価され、百塚地区は平成９年度に国指定史跡となりました。この貴重な史跡を適切に保存して多くの方に見学していただけるよう、熊本市では平成 24 ～ 27 年度にかけて整備事業を行いました。

工事に当たっては、遺跡発見時の迫力や感動が伝わるように発見当時そのままの状況で整備しています。

ご自由に見学できますので、皆さんぜひ池辺寺跡で古代の息吹に触れてみて下さい。


百塚地区の整備完成図

整備後の百塚地区全景

整備後の本堂建物群

アクセスマップ

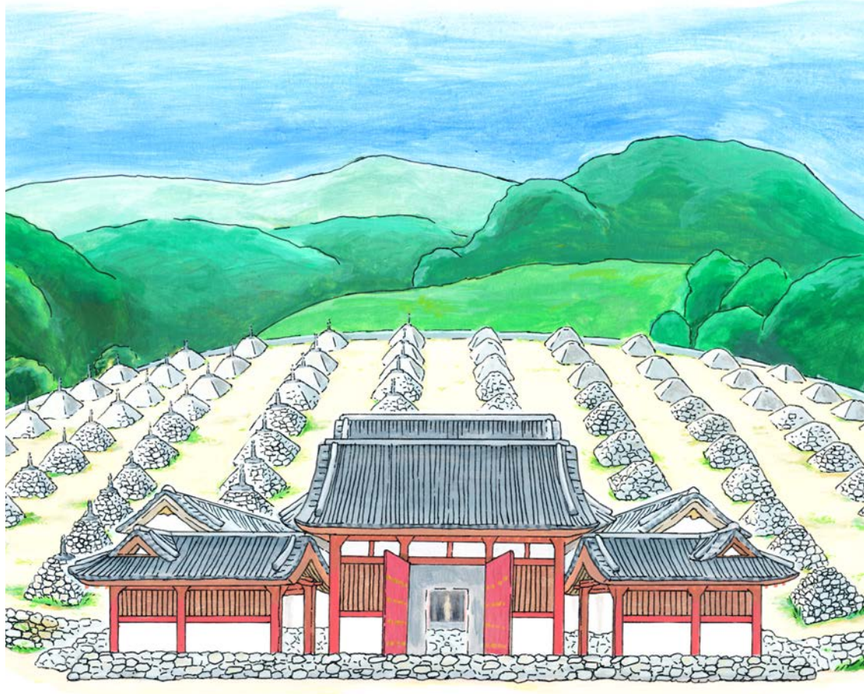
交通案内

車　：JR 熊本駅から万日山トンネルをくぐって 20 分程度
　　百塚に駐車場あり
バス：産交バス「池の上」から徒歩 30 分程度
　　産交バス「三和中学校」、「上高橋」から徒歩 45 分程度
　　※平成 28 年 4 月現在、熊本交通センター仮バスターミナルから各バス停に便が出ています

お問い合わせ

熊本市文化振興課　埋蔵文化財調査室
Tel：096-328-2740
e-mail：maizoubunkazai@city.kumamoto.lg.jp

国史跡

池辺寺跡（ちへんじあと）

熊本市